



序章 佐賀県の成り立ち	4	第3章 佐賀県の自然	135
第1章 佐賀県の人	11	1 有明海とラムサール条約	いのちを育む「豊穡の干潟」を守る取り組み 136
1 佐賀藩の教育と俊才たち	明治維新で活躍した人材を育てた先進的教育 12	2 伊万里湾のカプトガニ	市民の力で守られている「生きている化石」 142
2 中林梧竹と副島種臣	明治時代に新しい書の表現をもたらした 24	3 玄界灘と慍原湿原	数々の景勝に恵まれた海と多様な生き物が息づく湿原 148
3 百武兼行と岡田三郎助	日本洋画界の「日本初」の二人 30	4 淡水魚の宝庫 佐賀県	それは地史的な偶然によって生まれ人間の営みによって守られた 154
4 辰野金吾と曾禰達蔵	日本の建築界を牽引した 36	5 佐賀県の豊かな農畜産物	努力と工夫が産みだしてきた美味しい食材 160
5 志田林三郎	電気技術の礎を築いた 42	㊦知ってる!	盛んだった玄界灘の鯨捕り 166
6 森永太郎と江崎利一	二大お菓子メーカーの創始者は佐賀県から 48	第4章 佐賀県の今	167
7 石井亮一	日本で最初に知的障がい児教育を手がけた 54	1 佐賀県の遺跡と祭り	今に伝わる佐賀県人の暮らしと心 168
8 黒田チカ	日本初の女性化学者「紅の博士」 60	2 佐賀県人の足跡を訪ねて	県内編 172
9 田澤義舗と下村湖人	日本国民にあるべき人としての姿を示した 66	3 佐賀県人の足跡を訪ねて	県外編 174
㊦知ってる!	譜代大名が次々と藩主になった唐津藩 72	4 さがものづくり	伝統を受け継ぎ、新たな技術に挑む佐賀マイスターたち 180
第2章 佐賀県の歴史	73	5 佐賀県にゆかりの映像と文学	186
1 佐賀県の祭り	「唐津くんち」「伊万里トントン」と「浮立」 74	6 佐賀県のデータ	192
2 唐津・杵島の石炭産業	経済の発展を支えた炭鉱の賑わい 80		
3 幕末の雄藩佐賀藩と三重津海軍所	他藩に先駆けた近代化事業 86		
4 やきもの王国佐賀県	やきもの代名詞 唐津焼、磁器の発祥 有田焼 92		
5 『葉隠』～大慈悲の心で	今も読み継がれ、人としてのあり方を教えてくれる 98		
6 17世紀の防災と治水	成富兵庫茂安と寺沢広高の防災・治水事業 104		
7 幻の巨大都市～天下人の城と大名陣屋	日本の政治・経済・文化の一翼を担った 110		
8 古代山城「基肄城」	大宰府の南の守り 116		
9 『肥前国風土記』と『万葉集』にみる佐賀県	今に伝わる地名の由来や伝説を知るタイムカプセル 122		
10 考古学上の大発見～東名・菜畑・吉野ヶ里～	縄文・弥生文化の解明につながる三つの遺跡 128		
㊦知ってる!	佐賀県東部にあった対馬藩の特産品は薬 134		

